

# 一気通貫体制でゼネコンを支援

## 千代田測器

ICT機器の販売やレンタルを担う測器業界の動きも慌ただしくなってきた。千代田測器（東京都台東区）は、一気通貫のサポート体制を構築し、社を



現場での支援風景

挙げてゼネコンのICT活用と向き合う。平野啓太郎社長は「現場と技術部門の橋渡し役として貢献したい」と力を込める。

豊富に取りそろえる機器類の中から、現場への最適な活用プランを提案するほか、関連部門への活用支援も含めトータルで対応することが同社の強み。ユーザーとの接点となる推進部隊も組織し、いち早くi-Construction対応を確立した。建設現場におけるICT活用ニーズの拡大に呼応するよう、直近2017年の売上高も過去最高を記録した。

最近では地上型3次元レーザー扫描仪活用との問い合わせが急増中という。土木現場では点群を活用した出来形管理に加え、3次元モデルデータによるCIMの流れが拡大。BIMを導入する建築現場からのニーズもあり、多様な要求に迅速な対応を見せる。

大手・準大手から地場クラスまで幅広い層のゼネコンと向き合う同社は「測る、造る、魅せる」をコンセプトに、ハードとソフトの両面から一気通貫で現場のICT活用をサポートしている。